

futbol y vida



Poco a poco ...
Poco a poco ...

新チームも武者修行で揉まれています!!
四月からは公式戦が目白押し!!

令和六年度の活動が無事に終了!!

ありがとうございました!!

春の“武者修行”継続中で、新シーズンに向けレベルアップを図る!!

3月25日(火)、令和六年度修了式が行われサッカー部員全員が無事に進級できました(今回の成績は一年生が特に心配でした。恒例の通知表チェックでは厳しいものもありました。教科担当の先生方には日々のご指導本当に感謝です。ありがとうございました。もう少し勉強の方も頑張ってください)。三月は、三寒四温で春に近づくものですが、今年は三月に雪が五回も降り冬物を片付けられずにいたら、春分の日前日にはサクラの開花宣言が出るなど、今の世の中を象徴しているような、まさに五里霧中です。片倉山の桜も五分咲きといったところです。



<片倉山の桜もこれから>

新シーズンに向けて今年度最後の武者修行で心身ともにスキルアップを目指す!!

現在チームは、学年末考査後から新シーズンに向けてトレーニング&週末のTRMを経て、現在春休みに入り武者修行の最中です(前半戦終了)。今年の冬は二月に新人戦が行われ早々に敗退しましたが、心機一転して鍛錬期の“寒稽古”を通してトレーニングでは個々のベースの底上げを図ってきました。また、片倉サッカー部恒例となる“春の武者修行”を実施。3月26日から28日まで土浦遠征合宿、29日は湘南フェスティバルに参戦し、ホームグラウンドを離れて長い「ロード」に出かけてきました。片倉高校サッカー部は、年間を通して8割近くはホームグラウンドでTRMを行うことができるので、子どもたちはゲームだけに集中できる環境にあり、精神的には物凄く楽だと思います。これは、私たちのストロングポイントでもあります。更に子どもたちの成長、特にメンタリティの強化を目的に長期休業中は積極的にホームグラウンドを離れてアウェーの厳しい洗礼を受けるために武者修行と称してTRMを計画します。「ゲームこそが最高のTRである」とTRMを位置づけているので、今年の春の武者修行(30日まで)前半戦だけでも10ゲーム以上行い、子どもたちは心身ともにレベルアップすることができた貴重な時間であったと思います。



Awayゲームでは
学ぶことが多い



有意義な春合宿で“New K’s football style”の超進化を目指す!!

片倉高校サッカー部の成長には欠かせない、恒例の春合宿である土浦工業高校での合宿を春休み早々に実施しました。昭和に立てられたこの宿舎（木造）には、エアコンはありません。お風呂はシャワーはありますがお湯をためる形なので、近所のスーパー銭湯に連れていきますが、トイレは和式型、布団はレンタル毎食事の準備や後片付け、洗い物、掃除、ゴミ捨て（分別）と普段家庭ではやっていない？ことを合宿所の生活では協力して行います。片倉高校サッカー部の合宿ではサッカーに集中



🏆 桜をバックに走る 🏆

しながらも多くのことを経験し学んでいきます（まだまだ、子どもたちはスマホに依存する生活場面が見られますが…）。同じ目標を持った子どもたちがその達成に向かって努力し、寝食を共にして生活をする。特に、年度末の春合宿は、新シーズンに向けてチーム力アップが目標ですが、チームの強化や個々のレベルアップを図ることや一年間を振り返り反省や課題、新年度に向けての目標を今一度確認し、チームの結束力を高めるといった大切な目的があります。そして、見失いつつある人と人との繋がりから生まれてくる大切なものを、集団生活を通してしっかり見つめ直す社会的な教育の役割もあります。現役の高校生も四年間のコロナの影響からなのか、社会全体が子どもたちに対し過保護で過干渉な対応を生み、無重力状態を引き起こしているように見えます（ここは再掲です）。でも、社会の厳しさは変わっていません。今こそ適度な負荷をかけた刺激が全般的に必要なのではないかと、毎回合宿を通して子どもたちの成長を見てると改めて不思議な魅力を感じています。合宿はまさに子どもたちを育てる場です。今回快く送り出してくれた家族、遠征先でいつも大変お世話になる木内先生、宿舎の方、大会の会場校、帯同してくれた佐藤先生、宮崎コーチなど、多くの方々に支えられて合宿が成立しているという感謝の気持ちを忘れずにいて欲しいと思います。

さて、遠征先でいつも大変お世話になる木内先生には、2000年の三宅島噴火で東京に避難し部員が少ない中で合同チームを組み土浦に遠征した時からお世話になっています。早いもので四半世紀となります。私が苦しい時、また今回の選手権のように勝った時に必ず連絡を頂きます。生徒だけでなく私も木内先生には多くのことを学びそして支えてもらいました。一昨年度、茨城県の教職を任期満了で退職されて、現在は講師をしながら前任校の竹園高校の外部指導員をされています。木内先生が笛を持ってグラウンドに立ち続ける限り、いつまでも私のチームは土浦フェスティバルに参加します。



🏆 木内先生(左)お世話になっています 🏆

<After the Game>

2024年度が終了しました。明日から2025年度がスタートします。新チームは51期生の成績「**都ベスト16**」「**T4昇格**」を目標に、この冬は苦しみもがいています。間もなく新入生が入学してきます。後輩は先輩の背中を見て育つものです。年齢が上というだけではなく、人として信頼される先輩になるとともに、部活動だけではなく学校内に於いてもしっかりとプライドと自覚、責任を持ち生活をして欲しいと思います。



2025年度も片倉高校サッカー部サポートをお願いいたします!!